



# 平成26年12月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年5月15日

上場取引所 東

上場会社名 エルナー株式会社

コード番号 6972

URL <http://www.elna.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長執行役員

(氏名) 吉田 秀俊

問合せ先責任者 (役職名) 取締役上席執行役員財務経理部長

(氏名) 安藤 正直

TEL 045-470-7252

四半期報告書提出予定日 平成26年5月15日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成26年12月期第1四半期の連結業績(平成26年1月1日～平成26年3月31日)

### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年12月期第1四半期	7,966	29.7	318	—	132	—	234	—
25年12月期第1四半期	6,141	△18.8	△398	—	△614	—	△603	—

(注) 包括利益 26年12月期第1四半期 232百万円 (—%) 25年12月期第1四半期 △599百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年12月期第1四半期	5.63	4.14
25年12月期第1四半期	△14.50	—

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年12月期第1四半期	25,672	4,047	15.7
25年12月期	26,275	3,811	14.4

(参考) 自己資本 26年12月期第1四半期 4,026百万円 25年12月期 3,793百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年12月期	—	—	—	0.00	0.00
26年12月期	—	—	—	—	—
26年12月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

(注) 上記「配当の状況」は、普通株式に係る配当の状況です。

なお、当社が発行する種類株式の配当の状況につきましても、前連結会計年度、当連結会計年度(予想)とも無配であります。

## 3. 平成26年12月期の連結業績予想(平成26年1月1日～平成26年12月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	—	—	—	—	—	—	—	—	—
通期	29,000	0.7	1,040	273.4	400	—	370	—	8.89

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

26年12月期1Q	41,611,458 株	25年12月期	41,611,458 株
26年12月期1Q	22,376 株	25年12月期	21,926 株
26年12月期1Q	41,589,195 株	25年12月期1Q	41,590,891 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	2
2. サマリー情報(その他)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(セグメント情報等)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間(平成26年1月1日～平成26年3月31日)のわが国経済は、円安傾向を背景とした輸出環境や企業収益の改善などにより、緩やかな回復傾向にあります。一方では、円安による原材料価格の上昇や消費税増税の景気への懸念と中国経済の成長鈍化など先行き不透明な状況が続いております。

このような状況の中で当社グループの当第1四半期連結累計期間の業績は、車載関連分野の受注が伸張したことに加え、生産性改善などが進んだことにより、連結売上高79億6千6百万円(前年同四半期比29.7%増)、連結営業利益3億1千8百万円(前年同四半期は連結営業損失3億9千8百万円)、連結経常利益1億3千2百万円(前年同四半期は連結経常損失6億1千4百万円)となり、特別利益に退職給付制度改定益を計上した結果、連結四半期純利益は、2億3千4百万円(前年同四半期は連結四半期純損失6億3百万円)となりました。

#### (セグメントの業績)

コンデンサ事業におきましては、グローバルな受注活動の成果により欧米車載関連顧客への売上が引き続き拡大していることから、連結売上高は30億5千5百万円(前年同四半期比31.8%増)となり、今後もこの需要増加が見込まれることから、昨年タイ工場の能力増強を実施いたしました。更に同工場の能力増強を今期前倒して実施いたします。損益面では、売上の増加と原価低減や生産性向上などにより、連結営業利益3億8百万円(前年同四半期比226.7%増)となりました。

プリント回路事業におきましては、車載関連分野の受注が伸張したことから、連結売上高は48億9千2百万円(前年同四半期比28.0%増)となり、固定費の削減や原価低減などの諸施策を実施した結果、連結営業利益4百万円(前年同四半期は連結営業損失4億9千3百万円)となりました。

プリント回路事業における更なる原価低減、生産性改善を図るため社内での取り組みに加え、物づくり支援で30年以上の歴史と4,000事業所以上の指導実績を持つ、株式会社テクノ経営総合研究所とコンサル契約を結び、生産性15%の改善を進めております。既に開始した一期(2013年10月～2014年3月)では4月までに54名の活人化を実施し、更に10月までに50名を予定しており、全体で100名規模の活人化を実施します。これを人員の自然減や新規採用の不補充、派遣社員の削減等に充てることで、労務費を削減しながら、現在、需要が拡大している車載向けの生産増加に対応してまいります。

#### 【成果創出の活動の仕組み】

- (1) 従業員の潜在能力を活用する
- (2) 価値作業の認識と付随工数削減による少人化
- (3) 管理改善活動の仕組みによる無駄を削減
- (4) 多能工化による少数精鋭の組織づくり

#### 【具体的な目標】

- (1) 従業員の活人化 100名規模
- (2) 生産性向上 15%(労務費削減・抑制効果15%相当)

### (2) 連結財政状態に関する定性的情報

#### [資産]

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ流動資産が1億7千1百万円減少し、固定資産が4億3千1百万円減少した結果、256億7千2百万円となりました。この主な要因は、現金及び預金の減少7億2千万円、受取手形及び売掛金の増加5億5千6百万円および有形固定資産の減少4億2千4百万円によるものであります。

#### [負債及び純資産]

当第1四半期連結会計期間末の負債合計は、前連結会計年度末に比べ流動負債が1億2千3百万円増加し、固定負債が9億6千1百万円減少した結果、216億2千5百万円となりました。この主な要因は、支払手形及び買掛金の減少1億8千7百万円、社債の減少1億9千2百万円および退職給付引当金の減少1億7千3百万円によるものであります。

当第1四半期連結会計期間末の純資産は、四半期純利益の計上などにより、前連結会計年度末に比べ2億3千5百万円増加し、40億4千7百万円となりました。なお、自己資本比率は前連結会計年度末の14.4%から15.7%となりました。

### (3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成26年2月14日に公表しました平成26年12月期連結業績予想を修正しております。

詳しくは、本日(平成26年5月15日)公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

## 2. サマリー情報(その他)に関する事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動  
該当事項はありません。
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用  
該当事項はありません。
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
該当事項はありません。

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成26年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,838	2,117
受取手形及び売掛金	5,839	6,395
商品及び製品	2,478	2,319
仕掛品	1,556	1,678
原材料及び貯蔵品	1,662	1,584
その他	320	428
貸倒引当金	△54	△54
流動資産合計	14,641	14,470
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	3,531	3,470
機械装置及び運搬具（純額）	3,056	2,932
土地	2,320	2,169
建設仮勘定	658	613
その他（純額）	1,400	1,356
有形固定資産合計	10,966	10,541
無形固定資産		
のれん	16	12
その他	162	164
無形固定資産合計	178	176
投資その他の資産		
投資有価証券	78	78
その他	411	407
貸倒引当金	△1	△1
投資その他の資産合計	488	484
固定資産合計	11,633	11,202
資産合計	26,275	25,672









